

「第2次福岡市動物愛護管理推進実施計画」の進捗状況について(平成31年1月24日時点)抜粋

施策の分類	具体的 施策数	着手	未着手	着手率
短期 平成28年度を目途に実施	35	35	0	100
中期 平成31年度を目途に実施	30	21	9	70.0
長期 平成36年度を目途に実施	6	1	5	16.7
継続 第1次計画から継続実施	48			
合計	119			

区分	具体的施策	項目	達成時期	実施内容	実績又は今後の予定
1 動物愛護についての啓発推進	(1)動物愛護思想の普及啓発	1 民間企業での動物愛護研修	長期	○民間企業の研修等の場で、動物愛護研修を行うことを検討	未着手
2 適正飼育の推進	(1)適正飼育の啓発	2 ペットフード等販売店での啓発	中期	○ペットフード販売店などを介した啓発を推進	未着手
		3 動物の適正飼育ガイドラインの策定	中期	○集合住宅や都市部での飼育ガイドラインを検討	・「犬を家族として迎えるためのモラル・マナーガイド」及び「猫を家族として迎えるためのモラル・マナーガイド」を作成 ・(参考)環境省が「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」を作成
		4 犬のしつけ教室の拡充	中期	○犬のしつけを行う場としてセンター敷地の提供などを検討	センター、動物愛護フェスティバル会場で実施
	(2)不妊去勢手術の徹底	5 飼い主指導啓発	中期	○自宅訪問などの指導啓発方法の検討	多頭飼育者に対する指導など機会をとらえ実施
	(3)終生飼育の推進	6 飼い主の年齢等に応じた指導啓発	中期	○飼い主に応じた助言、指導、啓発の在り方を検討	高齢者などへの対応方法を中心にワーキンググループで検討中
	(5)多頭飼育問題対策	7 多頭飼育者の実態の把握	短期	○多頭飼育の届出制度の検討	届出制度開始(平成30年10月1日～) 報告(4)参照
		8 多頭飼育の実態の把握(連携)	短期	○関係者と連携した早期発見	・多頭飼育者の状況改善に対処する体制の構築に向けてワーキンググループで検討中 ・地域包括支援センターとの連携 「連絡会議」「個別支援会議」に参加 ・ケアマネージャーとの連携 「自主研修会」に参加
		9 多頭飼育予防のため指導及び啓発	中期	○多頭飼育問題の事例や原因を分析	過去の苦情に基づく多頭飼育指導事例を集計中
		10 多頭飼育者の指導のための職員の育成	長期	○指導に当たる職員に対し、高齢者福祉や精神保健等を含めた研修	「ためこみ症について」職員研修実施 講師:九州大学病院精神科神経科医局長
	(6)犬の散歩等のマナーの向上	11 普及啓発の新たな展開の検討	長期	○啓発を地域活動に取り込む手法の提案	未着手
	3 猫問題対策	(1)飼い猫の適正飼育の推進	12 飼い猫の登録制度	長期	○登録制度の効果や必要性について検討
(2)飼い主のいない猫問題対策の実施		13 地域猫活動の支援方法の検討(検証)	中期	○地域猫活動地域の実態調査と成果検証	議事(2)参照
		14 地域猫活動の支援方法の検討(方法)	中期	○地域猫活動地域への支援方法を再検討	議事(2)参照
15 猫への無責任な餌やり防止対策	中期	○無責任な給餌行為者への効果的指導啓発方法の検討	・飼い主のいない猫への給餌に関する啓発チラシを作成 ・啓発チラシをホームページやフェイスブックに掲載するとともに、苦情対応などで使用		
4 譲渡及び返還の推進	(1)譲渡事業の充実	16 動物関係団体の協力による譲渡適性判断	中期	○動物関係団体との協力による適性判断基準の見直し	従来不合格となっていた犬のうち、軽度のものを条件付き合格とし譲渡を推進
	(2)マイクロチップ装着の推進	17 譲渡猫へのマイクロチップの装着	中期	○譲渡猫へのマイクロチップ装着の検討	譲渡猫に装着を開始(平成29年7月～)
		18 関係機関との連携	中期	○警察署等動物を収容する機関ヘリーダー設置を呼びかけ	リーダーの設置について警察と協議の結果、現状では困難な状況
(3)収容動物返還率の推進	19 ホームページわんにゃんよかネットによる情報発信(隣接する自治体の情報統合)	中期	○近隣自治体との収容情報の統一サイトを検討	ホームページに近隣自治体のリンクを掲載 内容を随時見直し	

区 分	具 体 的 施 策	項 目	達成時期	実 施 内 容	実績 又は 今後の予定
5 狂犬病予防	(1)犬の登録率及び狂犬病予防注射実施率の向上	20 犬の登録並びに鑑札及び注射済票の交付利便性向上	中期	○犬の登録が可能なペットショップの実現検討	未着手 (参考)登録済み個体を販売するショップあり
		21 飼い主情報の把握(飼い主の実態調査)	中期	○飼い主実態調査の検討	未着手
		22 飼い主情報の把握(業者との連携)	中期	○動物病院や動物取扱業者等と連携した情報収集の検討	未着手 (参考)現状では、個人情報保護の観点から情報収集が困難な状況
6 監視指導	(1)動物取扱業者の監視指導	23 行政処分取扱要綱の整備	中期	○行政処分取扱要綱の策定	未着手
		24 動物取扱業者間の連携	中期	○ペット販売業者等業界団体の設立に向けた働きかけ	動物取扱業者の有志による会議開催や取り組み実施
		25 動物取扱業者の資質向上(優良店制度)	中期	○優良業者の認定制度の検討	犬猫パートナーシップ店制度を創設(平成30年4月スタート) 報告(3)参照
		26 動物取扱責任者及び動物取扱業従事者の資質向上(従事者講習)	中期	○動物取扱業従事者向けの研修会の検討	未着手
	(2)特定動物飼育者の監視指導	27 特定動物逸走時等の対策	中期	○関係機関と関係のための逸走時・災害発生時対応マニュアルの策定	未着手
	(3)大型犬、危険犬種及び放浪犬による危害防止の指導	28 捕獲作業(方法)	長期	○適切な捕獲方法の検討	未着手
		29 捕獲作業(訓練)	長期	○適正な取り扱いに留意した捕獲作業及びそのための訓練	未着手
	(4)実験動物飼育施設の指導	30 実験動物飼育施設の指導(指導)	中期	○実験動物飼育施設の立入などによる指導	把握している実験動物飼育施設への確認方法などを検討中
	(5)産業動物飼育施設の指導	31 畜産経営農家の指導(指導)	中期	○畜産経営農家への立入などによる指導	畜産振興担当部署との連携について協議中
	(6)犬猫の殺処分方法の検討	32 子猫の殺処分方法の検討	中期	○より苦痛の少ない殺処分方法の検討	麻酔薬を使った処分実施を検討中
7 体制と制度	(1)関係部署や機関等との連携	33 市役所内部の連携(相談体制)	中期	○飼育継続が困難な市民向けの相談体制を検討	未着手
		34 関連機関との連携体制の強化と整備(警察)	中期	○警察等と動物虐待や遺棄の対応や防止に関する協議	動物虐待について、警察と福岡市獣医師会と連携して取り組む体制を構築中
		35 関連機関との連携体制の強化と整備(教育機関)	中期	○教育機関等での出前授業を実施	小学生を対象とした道徳授業を実施
	(5)動物愛護推進員の委嘱	36 動物愛護推進員の委嘱	中期	○役割を明らかにした上での委嘱に向けた検討	未着手 (参考)他都市における動物愛護推進員の活動状況を踏まえ検討中
8 危機管理対策		37 狂犬病発生時の対応(診断・検査体制検討)	中期	○狂犬病の診断・検査体制の検討	福岡市保健環境研究所における検査体制を整備
		38 同行避難の周知(しつけ方教室)	中期	○同行避難を想定したしつけ方教室の実施	家庭犬のしつけ方相談時に、同行避難に向けた事前準備について説明